



J-NETWORK
MAKING THE ROAD-II
2月26日●東京・北沢タウンホール

相手の光や炎を消す男。チャン
スに弱い男。識者の井上哲評をま
とめると、だいたいこのようにな
る。本職が消防勤務ということ
もないだろうが、相手の闘志に水
をかけるのが得意なのだろうか。
昨年夏、MAライト級王座を獲つ
たのは、通算五度めの挑戦の時だ。
だが舞台がMAではなく、初の
アウェーとなるJ-NETのリン
グ。しかも対戦相手が同じライ
ト級王者の西山誠人となると事情が
違ってくる。試合が近づくにつれ
井上の双肩には今まで経験したこ
とのないようなブレッツィャーが重
くのしかかってきた。

果たして不安は現実のものとな
る。1R開始早々、距離感が合わ
ないのか、井上のローが当たらな
い。対照的に井上の蹴りが動きに
合わせての西山の右ストレートは
面白いようにヒットする。

良からぬ流れを断ち切ったのは、
タイ人も悲鳴を上げる井上のサバ
折り。見た目は地味だが、この男
の絞め上げる力は尋常ではない。

1R終了のゴングがなる頃、すで
に試合の流れは井上に傾いていた。
2R開始早々、西山が勝負を仕
掛けてきたのは、焦っていたから
にほかならない。そうならたらキ
ャリア13年を誇るベテランの思う
ツボ。まずは右ローや左フックで



○ときおり左フックをヒットさせて
いた井上だったが、本人いわく「あ
れは見えるだけのパンチ。結局、右
ヒジしか狙っていなかった」

○勝利が決まった直後、バンザいし
ながらリングを一周した井上。「(M
Aライト級の)タイトルを獲得した試
合よりうれしい」

○井上も西山の素質には「センスは
僕よりも上」と太鼓判。1Rから鼻
血を出すはめに、「おかげでこう
いい気持ちになってしまいました(苦
笑)」



興奮、感動、熱狂：
これぞ交流戦の醍醐味！

西山の意識を散らす。そしてチャ
ンスと見るや、カウンターの右ヒ
ジ打ちで西山を大流血させ、ドク
ターストップを呼び込んだ。

デビュー8戦めにしての初黒星
に、西山は「やられました。相手
の予告通りにヒジで倒されたのが
悔しい」と興奮気味に語るや、救
急病院へ直行した(右目と鼻の間を
8針を縫う大ケガ)。

一方、話題の東大院生を倒した
井上は「対抗戦はやり甲斐がある
けど、毎回となると心臓が持たな
い」と34歳の笑顔を見せた。相手
の光を消してもいい。火消しのテ
ツがその何倍も輝ければ。(布施)



●メインイベント/J-NET・MA対抗戦/64+契約3分5R 第6試合
日本ライト級王者
井上 哲 (MAキック・山本ジム所属、162cm、63kg、30歳)
(2R1分23秒TKO) ●ドクターストップ

●西山誠人 (ワーナークラブ・ジノ所属、174cm、63kg、24歳)
J-NETライト級王者
西山は右目、井上の右ヒジ打ちで鼻を骨折し、ドクターストップ後、ストップ

○「やっぱり自分だけの問題じゃなかったんで良かった。肩の傷が下りました。いまはホッとした気分。早く甘いものが食べたい」と試合後の井上は嬉しかった。3月30日には、ホームのMAで東金タイソンと闘う予定

J-NET対MAのライト級王者同士の激突はMAに凱歌 初めてのの名勝負？ 火消しのテツ、 無敗の東大院生をヒジで病院送り



○1R終了後の西山、明らかに焦りの色が見えた。J-NETの大賞推代表は「自分からいかなきゃという気持ちになっちゃったのでは。西山にとっては、いい勉強になった」とコメントした

○第1試合前、J-NETの年間表彰が行われた。MVPを受賞。来る3月23日にニューシーズンチャンと対戦する増田博正(後列・右から3人目)は「自分を試すための年。どんな闘って高いレベルに近づきたい」と抱負を述べた

